

平成29年度土浦市職員採用試験案内 (保健師・学芸員)

(平成30年4月1日採用予定)

平成29年5月
土浦市総務部人事課

土浦市の未来を共に創ろう！
～郷土愛にあふれた職員を求めています～

1 受付期間及び時間

平成29年5月29日(月)～6月21日(水) (土、日を除く)

午前8時30分から午後5時15分まで ※郵送の場合は、6月21日(水)消印有効です。

※今年度より、採用試験申込仮登録を実施しております。事前に市ホームページから仮登録を
5月10日(水)～6月9日(金)までにしてください

なお、仮登録後に採用試験申込書の持参又は郵送での提出が必要となります。

仮登録のみでは、採用試験を受験することはできませんので、御注意ください。

(<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/dir003016.html>)



2 職種・採用予定人員・受験資格及び職務内容

職 種	採用予定人員	受 験 資 格	職 務 内 容
保健師	2名程度	昭和57年4月2日以降に生まれた方で、保健師資格取得者又は平成29年度保健師国家試験により当該資格取得見込みの方	本庁又は出先機関で、健康相談、健康診査、母子保健等の業務に従事します。
学芸員 (日本近世史)	1名程度	昭和57年4月2日以降に生まれた方で学芸員の資格をすでに有する方	博物館等で主に江戸時代の美術工芸資料(刀剣など)及び古文書等の保存、調査、展示業務に従事します。

※1 採用予定人員は、変更になる場合があります。

※2 前記の受験資格を有する方であっても、次のいずれかに該当する方は、受験できません。

- (1) 日本の国籍を有しない方
- (2) 成年被後見人又は被保佐人
- (3) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの方
- (4) 土浦市において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない方
- (5) 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した方

3 試験日時及び場所

区 分	第1次試験	第2次試験 ※1次試験合格者のみ	
		＜1日目＞	＜2日目＞
日 時	7月23日(日) 午前10時～午後2時30分 (午前9時30分までに集合、 受付開始は午前9時から)	9月2日(土) 9日(土) のうちのいずれかの指定日	9月26日(火) 27日(水) 28日(木) 29日(金) のうちのいずれかの指定日
場 所	土浦市生涯学習館(図書館) 土浦市文京町9番2号 (駐車場はありません。)	霞ヶ浦総合文化体育館 土浦市大岩田1051番地	土浦市役所本庁舎 土浦市大和町9番1号 (駐車場はありません)

4 試験の方法及び合格発表

(1) 第1次試験（筆記試験）

試験科目・出題内容・問題形式及び試験時間

試験科目		出題内容	問題形式及び試験時間
教養試験(初級程度)		社会、人文及び自然に関する一般知識並びに文章理解、判断推理、数的推理及び資料解釈に関する一般知能	択一式 (2時間)
専門試験	保健師	公衆衛生看護学、疫学、保健統計学、保健医療福祉行政論	択一式 (1時間30分)
	学芸員 (日本近世史)	日本近世史及び美術工芸資料に関する小論文	記述式 (1時間30分)

第1次試験 合格発表	合格者の受験番号は、8月10日（予定）に、市役所前掲示場及び市のホームページに掲示します。 ※合格発表当日に第1次試験の合格者へのみ通知を送付いたします。
---------------	--

(2) 第2次試験

<1日目>9月2日（土）、9日（土）のいずれか

PR試験	「志望動機」や「自己PR」等に関する作文試験を実施します。 【記述式 1時間】
適性検査	職務遂行に必要な適性について検査します。
体力測定	職務遂行に必要な健康度を有するかどうかについて検査を実施します。

<2日目>9月26日（火）9月27日（水）、28日（木）、29日（金）のいずれか

口述試験	主として人物、知識等について個別面接等による試験を実施します。
------	---------------------------------

(3) 最終合格者の決定及び発表

第1次・第2次試験の結果に基づいて合格者を決定し、平成29年10月18日（予定）に、第2次試験受験者全員に合否を通知します。

5 合格から採用まで

- ・採用の時期は、平成30年4月1日を予定しています。
- ・学歴・受験資格を「卒業・取得見込」で最終合格した後に、その学歴・受験資格を卒業・取得できなかった場合は、採用取消しとなります。
- ・災害対応等の業務遂行上、全ての職種において、道路交通法施行規則第2条に規定する普通自動車を運転することができる運転免許が必要です。（年齢要件等により採用までに運転免許の取得が困難な方は、採用後6か月以内に取得してください。）

6 受験手続

- ・事前に市ホームページから採用試験申込仮登録をしてください。
- ・申込書に必要事項を自筆で記入・押印し、写真貼付のうえ、直接総務部人事課に持参するか、郵送してください。受付終了後、受験票を交付または郵送します。
※ ホームページからダウンロードした申込書でも申込みできます。A4横で印刷してください。
- ・郵送で申込む場合は、申込みの封筒の表に「受験申込み」と朱書きして、返信用封筒（長形3号、縦23.5cm横12cm程度）を同封してください。なお、返信用封筒には、82円切手を貼付し、必ず宛先を明記してください。
- ・提出していただいた返信用封筒で、受験票を7月上旬までに郵送しますので、試験日10日前までに到着しない場合は、総務部人事課に問い合わせてください。
※ 試験当日は、必ず受験票を御持参ください。
- ・採用試験の可否に関わらず、申込書は返却いたしませんので、あらかじめ御了承ください。不合格者分の書類については、当方で責任を持って廃棄処分いたします。

7 給与・福利厚生等

(1) 給 与

- ・採用当初の額はおおむね次のとおりです。（平成29年5月現在）
- ・職歴等がある場合等は、職務内容や経験年数に応じた給与の加算があります。

学歴	職種	給 料 月 額（地域手当10%含む）
	保健師・学芸員等	
大学卒		210,870円
短大卒		174,680円
高校卒		160,710円

※上記のほか次のような諸手当が支給されます。

- ・扶養手当…扶養親族のある者に配偶者月額6,500円等（平成30年4月の予定額）
- ・住居手当…借家（賃貸アパート等）に住んでいる者に月額27,000円を限度に支給
- ・通勤手当…交通機関、自家用車等で通勤している者に1か月当たり55,000円を限度に支給
- ・期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス）…1年間に給料等の約4.3月分

(2) 福利厚生等

- ・共済組合、職員互助会等の組織で、福利厚生事業を行っています。（契約保養施設等あり）
- ・各種内部研修及び国内・海外派遣研修制度があります。
- ・有給休暇は年間20日（繰越20日で最高40日）です。※採用年のみ年間15日
- ・完全週休二日制（一部変則勤務部署あり）です。

8 試験結果の開示について

この試験の結果については、口頭で開示を請求することができます。

開示を希望する場合には、受験者本人が受験票及び運転免許証、学生証等の身分証明書を持参のうえ、総務部人事課に直接おいでください。電話、はがき等による開示の請求はできません。

試 験	開示請求できる人	開示する内容	開示の期間	開示の場所
第1次試験	不合格者	総合得点及び順位	試験の結果発表から 1か月	総務部人事課
第2次試験	受験者	総合得点及び順位		

9 問い合わせ先

この試験についてのお問い合わせは、土浦市総務部人事課までお願いします。

〒300-8686 土浦市大和町9番1号 TEL 029-826-1111(内線2436, 2439)

試験会場の生涯学習館への問い合わせは、絶対にしないでください。

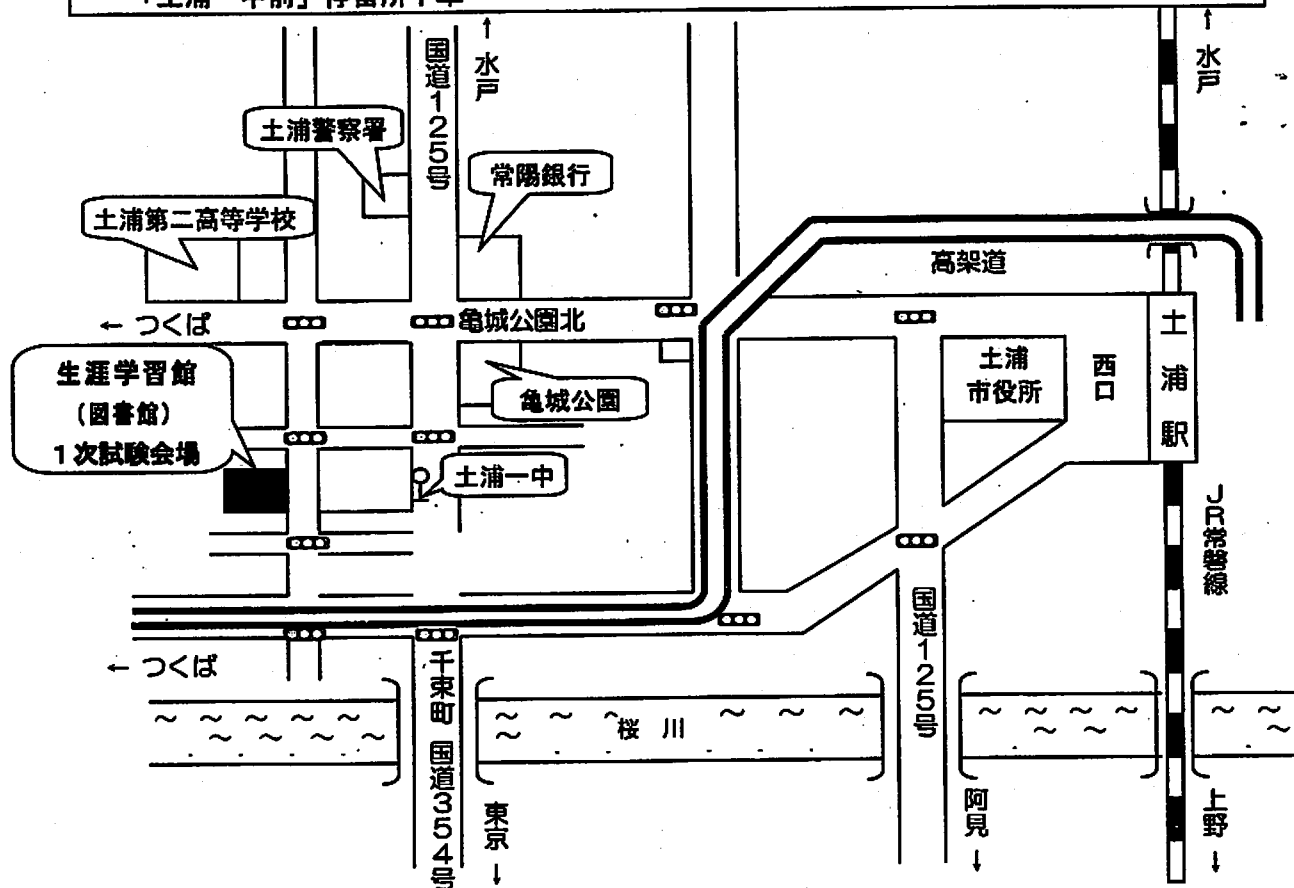
試験会場案内図

生涯学習館（図書館）（土浦市文京町9番2号）

JR常磐線土浦駅下車 徒歩約20分 又は バス10分

関東鉄道バス（土浦駅西口から）「水海道駅」「桜ニュータウン」行きで

「土浦一中前」停留所下車



駐車場がありませんので、車での来場は御遠慮ください。

2017年5月17日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 圓月 優子

教員（コリア語任期付）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、当学部では、下記の要領で任期付教員を募集することになりました。

つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 任用職名： 助教、准教授または教授
2. 担当科目： コリア語（朝鮮語）および言語文化関連科目
3. 採用人員： 1名
4. 任用期間：2018年4月1日～2023年3月31日の5年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格
 - (1) 国籍は問わないが、朝鮮語を母語とする者、あるいはそれと同様の朝鮮語運用能力を持つ者。
 - (2) 朝鮮語学または朝鮮語教育を専門とし、朝鮮語教育に関する経験実績を有する者。
 - (3) 博士の学位を有する者、またはそれに準ずる者。
 - (4) 校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - (5) 近畿圏に居住できる者。
6. 義務時間と業務
 - (1) 義務時間：授業担当は、今出川校地および京田辺校地における1週16時間（8コマ）を最少基準とする。
 - (2) 業務：科目担当以外に、外国語カリキュラムに関する業務、学期末の試験に関わる業務（他の教員担当科目の応援監督も含む）、学生の外国語能力向上に関する業務、国際交流に寄与する業務、入学試験関連業務等を担当する。
7. 提出書類
 - (1) 履歴書・研究業績書および学校法人同志社内における職務経歴報告書各1通。
書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - (2) 主たる業績2点以内：抜き刷り、コピー可とするが、各々800字以内の日本語要約を添付し、各3部（ただし著書・博士論文の場合は現物1部）送付のこと。
 - (3) 応募理由書：これまでの教育実績および今後の教育研究計画を日本語で4000字程度にまとめたもの3部。
 - (4) 学位証明書（コピーでも可。ただし原本の提示を求めることがある。）
8. 応募締切日：2017年7月3日（月）必着。
9. 提出先：〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上る
同志社大学 グローバル地域文化学部
学部長 圓月 優子
注）封筒の表に「コリア語教員（任期付）応募書類在中」と朱書き、必ず書留便で送付すること（宅配便可）。
10. 選考方法
 - (1) 審査手続き
 - 第一次審査：上記提出書類による資格審査および業績審査を行う。
 - 第二次審査：第一次審査通過者を対象にすべての業績について審査を行う。
 - 第三次審査：第二次審査通過者を対象に日本語とコリア語による面接審査と模擬授業の審査を行う（9月上旬を予定）。
 - (2) 第一次審査通過者に対しては、追加の書類（すべての業績を含む）の提出を求める。

- (3) 第二次審査通過者に対しては、面接と模擬授業の要領および日程について連絡する。
- (4) 面接に際し、本学部所定の交通費を支給する。
- (5) 選考結果については、選考が終了次第、直接本人に通知する。
- (6) 上記7の提出書類は原則として返却しない。返却を希望する場合は、送付先を明記した着払い伝票を同封すること。
- (7) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、変更期間、変更先の住所、電話・ファックス番号、Eメールアドレス等を記載し、必ず応募書類に同封すること。

付記) 同志社大学 ホームページ <http://www.doshisha.ac.jp>
グローバル地域文化学部 ホームページ <http://gr.doshisha.ac.jp>
Eメール: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp
TEL: 075-251-2610 FAX: 075-251-2781

第一次審査にご提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄いたします。また、提出書類に含まれる個人情報は、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

2017 年 5 月 17 日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 圓月 優子

教員（英語専任）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当学部では、下記の要領で専任教員を募集することになりました。

つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授または教授
2. 担当科目：全学共通科目（英語）、および学部科目
3. 採用人員：1 名（アジア・太平洋コース）
4. 採用予定日：2018 年 4 月 1 日
5. 応募資格：
 - （1）英語教育学（応用言語学）を専門とする者。または英語教育の分野で実績のある者。
 - （2）博士の学位を有する者、またはそれに準ずる者。
 - （3）国籍は問わない。ただし、本学での職務遂行上必要な日本語運用能力を有すること。
 - （4）英語教育・語学カリキュラム策定などに豊かな経験がある者（大学レベルが望ましい）。
 - （5）教育・研究のほか、各種校務に積極的に関わる意志のある者。
 - （6）採用後、近畿圏に居住できる者。
6. 提出書類：
 - （1）履歴書および研究業績書、各 1 通。書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - （2）主たる業績 3 点（抜き刷り、コピー可）。業績のうち 1 点は英語で書かれたものとする。各々 4 部ずつ（ただし著書の場合は現物 1 部）提出のこと。各業績について日本語要約を添付すること。（A4 版用紙で各 800 字以内・書式自由）
 - （3）学位証明書（コピーでも可。ただし原本の提示を求めることがある。）
 - （4）TESOL の資格（diploma または certificate）を有する者は、その証明書類のコピー。
 - （5）英語教育に関する提言：「グローバルな視点からみた今後の大学における英語教育のあり方についての提言」（A4 版用紙で 2,000 字程度・書式自由）。4 部提出。

7. 応募締切日：2017 年 7 月 4 日（火）必着

8. 書類提出先：〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上る

同志社大学 グローバル地域文化学部

学部長 園月 優子

注）封筒の表に「教員（英語専任）応募書類在中」と朱書し、
必ず書留便で送付すること（宅配便可）。

9. その他

- （1）選考の過程で応募業績の原本及びその他の業績の原本の提出を求めることがある。（7 月中旬頃）
- （2）必要な時点で学位記（原本）の提示を求めることがある。
- （3）必要に応じて面接を行う。また模擬授業の実施を求めることがある。（9 月中旬頃）
- （4）面接に際し、本学部所定の交通費を支給する。
- （5）選考結果については、選考終了次第、直接本人に通知する。
- （6）上記 6 の提出書類は原則として返却しない。返却を希望する際は、送付先を明記した着払い伝票を同封のこと。
- （7）夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、A4 版用紙に変更期間、変更先の住所、電話／ファックス番号、E メール・アドレスなどを記載したものを、必ず応募書類に同封すること。

同志社大学グローバル地域文化学部

電話：075-251-2610 Fax：075-251-2781

E メール：ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

グローバル地域文化学部ホームページ：http://gr.doshisha.ac.jp/

同志社大学ホームページ：http://www.doshisha.ac.jp/

付記

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄いたします。
また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

2017 年 5 月 17 日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 圓月 優子

教員（英語任期付）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当学部では、下記の要領で任期付教員を募集することになりました。

つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授または教授
2. 担当科目：全学共通科目（英語）、および英語圏の文化・社会に関する専門科目
3. 採用人員：1 名
4. 任用期間：2018 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の 5 年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格：
 - （1）英語を第一言語とする者、あるいはそれと同等の英語運用能力を持つ者。
 - （2）英語教育または英語文化圏に関する学問分野で修士以上の学位を有する者。
 - （3）博士課程前期（修士課程）修了後、大学またはそれと同水準の教育機関において、3 年以上の英語教育歴を有する者。
 - （4）校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - （5）採用後、近畿圏に居住できる者。
 - （6）応募時点で 3 点以上の研究業績を有する者。
6. 義務時間および業務：
 - （1）授業担当は、今出川校地および京田辺校地における 1 週 16 時間（8 コマ）を最少基準とする。
 - （2）科目担当以外に、英語のカリキュラム運営に関する業務（教材作成、登録相談等）、学期末試験の監督（他教員の担当科目の応援監督を含む）、学生の英語能力向上を支援する業務（語学カウンセリング等）、国際交流に寄与する業務、広報・入学試験関連業務等を担当する。
7. 提出書類：
 - （1）履歴書・研究業績書および学校法人同志社内における職務経歴報告書、各 1 通。
書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
 - （2）主たる研究業績 2 点（抜き刷り、コピー可）、およびその要約（英文で各 500 語程度）を各 3 部送付のこと。
 - （3）応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育研究計画を 1,000 語程度の英文にまとめたもの）を 3 部。
 - （4）授業評価記録、シラバス、表彰歴など、優秀な教育実績を証明できるもの（コピー可）。（任意）

- (5) 修了証明書(修士)もしくは博士課程修了証明書のコピー1部。
- (6) TESOLの資格保持者は、その証明書類(diploma または certificate)のコピー1部。
- (7) 日本語能力を証明する書類(日本語能力試験等)を有する者は、証明書類のコピー1部。

8. 応募締切日: 2017年7月10日(月)(必着)

9. 書類提出先: 〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上る
同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 圓月 優子

注) 封筒の表に「英語教員(任期付)応募書類在中」または
“Application Documents (Contract)”と朱書きし、必ず書留便で
送付すること(宅配便可)。

10. 選考方法:

(1) 審査手続き

第1次審査: 上記提出書類による業績審査。

第2次審査(9月第2週~第3週): 第1次審査通過者にはその他の業績の提出を求め、新たな業績審査および英語と日本語による面接審査を行う。面接審査は、模擬授業および日本語読解力の簡単なテストを含む。

(2) 第1次審査通過者に対しては、第2次審査のための提出書類、締め切り日、および面接日、面接場所を連絡する。

(3) 面接に際し、本学部所定の交通費を支給する。

(4) 選考結果については、選考終了後すみやかに本人に通知する。

(5) 上記7の選考書類は原則として返却しない。返却を希望する場合は、送付先を明記した着払い伝票を同封のこと。

(6) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、変更期間、変更先の住所、電話/ファックス番号、Eメール・アドレス等を記載し、必ず応募書類に同封すること。

同志社大学グローバル地域文化学部

電話: 075-251-2610 Fax: 075-251-2781

Eメール: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

グローバル地域文化学部ホームページ: <http://gr.doshisha.ac.jp/>

同志社大学ホームページ: <http://www.doshisha.ac.jp/>

付記

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任をもって破棄いたします。
また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

Limited-Contract Teaching Position, Beginning April 2018
English Division, Faculty of Global and Regional Studies, Doshisha University

May 17, 2017

The Faculty of Global and Regional Studies at Doshisha University in Kyoto will have one opening for a five-year limited contract position, beginning in April 2018.

Rank: Assistant Professor, Associate Professor or Professor, depending on qualifications

Contract period: From April 1, 2018 to March 31, 2023 (non-renewable)

Qualifications and application conditions (all of the following must be satisfied):

- 1) First language is English, or equivalent English proficiency
- 2) Holder of a Master's degree or above in the area of English language education (TESOL) or in an academic field related to any English-speaking culture
- 3) At least three years' English teaching experience at the university level
- 4) Sufficient Japanese proficiency for general administrative tasks
- 5) Resident of the Kinki area of Japan during the contract period
- 6) At least three academic publications

Responsibilities:

- 1) Courses: English and/or culture-related courses, at all undergraduate levels and for all faculties in the university, at the Imadegawa and/or Kyotanabe Campuses
- 2) Teaching load: A minimum of eight 90-minute classes per week, spread over five days
- 3) Administrative responsibilities: Involvement in curriculum design and planning; study-abroad programs; language counseling; registration, invigilation and entrance examination related duties

Application materials:

- 1) Curriculum vitae (履歴書, *rirekisho*), a list of academic publications (業績書, *gyosekisho*) and a list of your previous work experience within The Doshisha (職務経歴報告書, *shokumukeireki hokokusho*) [if not applicable, please write “なし”], for which the necessary forms can be downloaded from the University home page: <http://www.doshisha.ac.jp/en/doshisha/recruit.html>
- 2) THREE offprints/copies each of TWO academic publications, together with THREE copies of an English synopsis (about 500 words) for each publication
- 3) THREE copies of a statement in English (approximately 1,000 words), explaining your reasons for applying, including your personal philosophy/comments regarding teaching methods
- 4) Materials pertinent to your teaching prowess, such as student evaluations, syllabi, and awards. Photocopies are accepted.
- 5) Copy of diploma of highest degree achieved (Master's or Doctorate)
- 6) Copy of TESOL diploma/certificate (if available)
- 7) Copy of document(s) certifying qualification at a certain level of the JEES Japanese Language Proficiency Test or similar measurement of Japanese proficiency (if available)

Deadline for application: Application materials must arrive by Monday, July 10, 2017 via registered mail (*kakitome*) or commercial parcel delivery (*takuhaibin*).

Send application to: Professor Yuko Engetsu, Dean
Faculty of Global and Regional Studies
Doshisha University
Karasuma-dori Kamidachiuri-agaru
Kamigyo-ku, Kyoto 602-0898
Japan

N.B. Please print "Application Documents (Contract)" in red ink on the face of the envelope.

Please note the following with regard to the selection process:

- 1) After receipt of your initial application materials, we may request additional items.
- 2) Upon completion of the initial screening procedures, successful candidates will be interviewed in both English and Japanese and will be asked to give a demonstration lesson. Interview will be scheduled between the second and third week of September. At that time, we will request to see the originals of degree certificates/diplomas. During the interview, each candidate will also be briefly examined on his/her reading ability in Japanese.
- 3) For those candidates who are requested to come to Doshisha for an interview, partial funding for transportation costs may be available according to the Faculty's regulations.
- 4) Candidates will be notified of the results upon completion of the selection process.
- 5) In principle, application materials cannot be returned. Upon request, however, they will be returned by "pay on delivery." In such case, please specify "request return of documents" in red ink at the end of a list of academic publications (*gyosekisho*), and include a completed "pay on delivery" form of commercial parcel delivery (*takuhaibin*). Without it, we cannot undertake to return application materials.
- 6) Applicants should provide contact details if they plan to leave Japan during July, August and/or September, or if they change their address in Japan during the above period.

Faculty of Global and Regional Studies
Phone: +81-75-251- 2610 Fax: +81-75-251- 2781

E-mail: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

Faculty home page: <http://gr.doshisha.ac.jp/>

Doshisha University home page: <http://www.doshisha.ac.jp/information/index.html>

Application materials will be retained by the Faculty of Global and Regional Studies, and safely disposed of after the completion of the selection process. Personal information will not be used for any other purposes, in accordance with the Protection of Personal Information Law of Japan.

2017 年 5 月 17 日

関係各位

同志社大学グローバル地域文化学部
学部長 圓月 優子

教員（中国語任期付）の公募について（依頼）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび当学部では、下記の要領で任期付教員を募集することになりました。

つきましては、貴関係者にご周知いただき、適任者の応募についてご配慮をいただきますよう、お願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授または教授
2. 担当科目：中国語（普通話）および言語文化に関連する科目
3. 採用人員：1 名
4. 任用期間：2018 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の 5 年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格：
 - （1）中国語を母語とする者、またはそれに準じた中国語運用能力を持つ者。
 - （2）中国語学・中国語教育または中国語圏の社会、文化に関する研究を専攻し、中国語教育に関する経験実績を有する者。
 - （3）博士課程前期（修士課程）修了後 3 年以上の教育・研究歴の有る者、またはそれに準ずる経歴を有する者。
 - （4）校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
 - （5）近畿圏に居住できる者。
 - （6）応募時点で 2 点以上の研究業績を有する者。
6. 義務時間および業務：
 - （1）授業担当は、今出川校地および京田辺校地における 1 週 16 時間（8 コマ）を最少基準とする。
 - （2）科目担当以外に、外国語のカリキュラム運営に関する業務（教材作成、登録相談等）、学期末試験の監督（他教員の担当科目の応援監督を含む）、学生の外国語能力向上を支援する業務（語学カウンセリング等）、国際交流に寄与する業務、入学試験関連業務等を担当する。
7. 提出書類：
 - （1）履歴書・研究業績書および学校法人同志社内における職務経歴報告書各 1 通。
書式は同志社大学ホームページを参照のこと。
（ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）

- (2) 主たる研究業績 2 点 (抜き刷り、コピー可)。各々 800 字以内の日本語要約を添付し、各 3 部 (ただし、著書・博士論文の場合は現物 1 部) を送付すること。
- (3) 応募理由書 (これまでの教育実績および今後の教育研究計画を日本語で 4000 字程度にまとめたもの) 各 3 部。
- (4) 卒業証明書 (学士) および修士課程もしくは博士課程修了証明書のコピー。
8. 応募締切日: 2017 年 7 月 14 日 (金) (必着)
9. 提出先: 〒602-0898 京都市上京区烏丸通上立売上る
同志社大学 グローバル地域文化学部
学部長 圓月 優子
注) なお、封筒の表に「中国語教員 (任期付) 応募書類在中」と朱書き、必ず書留便で送付すること (宅配便可)。
10. 選考方法:
- (1) 審査手続き:
- 第 1 次審査: 上記提出書類による業績審査。
- 第 2 次審査 (7 月下旬予定): 第 1 次審査通過者にはその他の業績の提出を求め、新たに業績審査を行う。
- 第 3 次審査 (9 月上旬予定): 第 2 次審査通過者に対して、面接および模擬授業による審査を行う。
- (2) 第 1 次審査通過者に対しては第 2 次審査のための提出書類と締め切り日を連絡する。
- (3) 第 2 次審査通過者に対しては第 3 次審査の日時と場所を連絡する。面接に際しては、本学部所定の交通費を支給する。
- (4) 必要な時点で卒業証明書、修士課程もしくは博士課程修了証明書の原本の提出を求める。
- (5) 選考結果については、選考終了後すみやかに本人に通知する。
- (6) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合には、変更期間、変更先の住所、電話/Fax 番号、E メール・アドレス等を記したメモを必ず応募書類に同封すること。
- (7) 上記 7. の提出書類は原則として返却しない。返却を希望する際は、送付先を明記した着払い伝票を同封のこと。

付記) グローバル地域文化学部 ホームページ: <http://gr.doshisha.ac.jp/>
電話: 075-251-2610 ファックス: 075-251-2781
E メール: ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp
同志社大学 ホームページ: <http://www.doshisha.ac.jp/>

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任をもって破棄します。
また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上

各大学(学部)長
各短期大学長 様
各関係機関長

群馬県立女子大学
学長 濱口富士雄
(公印省略)

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学では下記の要領で文学部英米文化学科の教員を募集することになりました。つきましては、貴学ならびに貴機関関係者の方々にご周知くださいますようお願い申し上げます。 敬具

記

- 1 担当科目 アメリカ文化に関する講義、講読、演習、卒業論文指導及び文学部教養教育科目「英語」など、通年週5コマ程度。
この他、大学院修士課程の授業を担当していただくこともあります。
- 2 募集人員・職名 准教授または講師1名
- 3 応募資格
(1) 学歴 修士の学位を取得した方、もしくはそれと同等以上の学識を有する方
(2) 研究分野 アメリカ文化(文学は除く)
(3) 研究業績 著書・論文等5点以上(修士・博士論文を含む)
- 4 採用予定年月日 平成30年4月1日
注 平成30年4月1日より法人化が予定されており、公立大学法人が採用することとなるため、身分・給与等は法人の定める規程により決定されます。
- 5 提出書類
(1) 履歴書(所属学会等記載、写真貼付、学歴は中学校以前は記載不要)
(2) 研究業績一覧
(3) 主な研究論文または著書3点(コピー可)
(4) 社会貢献等活動状況表(過去3年間)
(5) 構想する教育内容・方法等(A4判1枚程度)
- 6 応募締切日 平成29年7月28日(金)(必着)
- 7 応募書類提出先 〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1
群馬県立女子大学 学長 濱口富士雄 宛
応募書類一式は「書留」とし、封筒の表に「アメリカ文化担当教員応募書類在中」と明記してください。
- 8 問い合わせ先 群馬県立女子大学事務局総務係、または英米文化学科長 松崎慎也
電話: 0270-65-8511(代表)
電子メール: eibunkoubo@mail.gpwu.ac.jp
- 9 その他
(1) 選考の過程で面接及び模擬授業をお願いする場合があります。その際は旅費等の支給はありませんのでご承知おください。
(2) 応募書類等は原則として返却しません。著書等の返却を希望される方は、「要返却」というラベルをそれらに貼付し、さらに宛先を明記し切手を貼付した返送用封筒を同封してください。
- 10 本学のホームページは、<http://www.gpwu.ac.jp/>です。

2017 年 6 月 7 日

関係各位

南山大学人文学部長 青柳 宏

教員の公募について(依頼)

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、南山大学人文学部において、下記の要領で専任教員を公募することとなりました。つきましては貴学関係者にご周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職名および人員 准教授または講師 1 名
2. 所属 人文学部日本文化学科
3. 専門分野 日本文学 (近現代文学)
4. 担当予定科目 日本文化学演習、日本文化学基礎演習、近現代文学研究、近現代小説研究、日本文学史、共通教育科目
上記以外で大学院科目担当の可能性もあり。
5. 応募資格
 - (1) 専門分野に関する博士の学位を有する方 (今年度中に取得予定の方を含む)。
 - (2) 幅広い視野で近現代の日本文学を研究している方。
 - (3) 学内の諸業務を十分に遂行できる日本語運用能力を有する方。
 - (4) 名古屋市内またはその近郊に居住できる方。
6. 採用予定日 2018 年 4 月 1 日
7. 応募締切 2017 年 7 月 31 日(月) 必着
8. 応募書類
 - (1) 履歴書 (大学入学以降・写真貼付)
 - (2) 研究教育業績一覧: ①著書 ②論文 (博士・修士論文も含む) ③学会発表 ④教育活動 ⑤その他
 - (3) (2)に記載の各著書と論文(①および②)の概要: 日本語で 400 字程度に要約し、論文については査読の有無、共著の場合には分担率(「分担率 80%」等と表記)を記載してください。
 - (4) 著書、論文で主要なもの 5 点(抜き刷りまたはコピーも可。研究教育業績一覧には、該当

する業績に○を付してください)

- (5) 本学科において、これまでの経験も踏まえてどのような研究教育を行おうとするかについてまとめたもの(2000 字程度)
- (6) 最終学位取得証明書(学位記のコピーでも可)
- (7) 2名からの推薦状各1通(計2通。本人と推薦者との関係を明記し厳封のこと)

9. 選考方法

書類審査後、最終選考に残った応募者に対して面接を行います(9月中を予定)。その際に専門分野についての模擬授業・講義を求めることがあります(面接のために要する旅費は自己負担となります)。

10. 書類送付先

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18

南山大学人文学部事務室「日本文化学科教員公募」係

(封筒の表に「公募書類在中」と朱書きの上、書留郵便、EMS 等で送付してください)

問合せ先： 南山大学人文学部日本文化学科

メールアドレス：nihonbunka-jinji@nanzan-u.ac.jp

その他：

- (1) 提出書類は一切返却しません。ただし、著書、論文等の現物が提出された場合には申し出により選考後に返却します(提出書類にその旨明記してください)。
- (2) 最終選考に残った応募者に対しては、選考後に全研究業績の現物あるいはコピーの提出を求めます。
- (3) 必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。
- (4) 応募において提出された個人情報、本学の個人情報保護に関する規定に従って適正に管理し、人事選考以外の目的には使用しません。

以上

平成29年6月12日

関係各位

広島大学大学院文学研究科長

久保田 啓一（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

広島大学では、「男女雇用機会均等法」第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、本公募は女性研究者に限定致します。

敬具

記

1. 所属（配属） 広島大学学術院（大学院文学研究科 欧米文学語学・言語学講座）
2. 職名・人員 教授または准教授 1名
3. 採用予定年月日 平成30年4月1日
4. 専門分野 フランス文学語学
（フランス文学、フランス文化を視野に入れた比較文学、比較文化学も含む）
5. 担当科目 教養教育科目：
「インテンシブ・フランス語」など
学部（専門教育科目）：
「フランス語中級会話演習」、「フランス語上級会話演習」
「20世紀フランス文学演習」または「近代フランス文学演習」または「日仏比較文化論演習」など
大学院（博士課程前期）：「フランス文芸研究」、「特別研究指導Ⅰ」など
大学院（博士課程後期）：「特別研究指導Ⅱ」
この他、教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目、全学事業も担当することがあります。
6. 応募資格 次の要件をすべて満たす者
(1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）または博士の学位と同等の学力を有し、著書（単著）1冊

以上または論文10編（うち査読付き論文3編以上を含む）以上の研究業績を有すること。

(2) フランス語またはフランス文学に関する教育経験実績を有すること。

(3) フランス語を母語とする者。フランス語を母語としない場合は、ネイティブスピーカーと同程度の語学力を有する者。

※日本語で学内業務が遂行できることが望ましい。

7. 応募書類

(1) 履歴書1通

写真を貼付し、学歴・職歴・所属学会・住所・E-mail アドレス等を明記のこと。

過去5年間に広島大学で雇用（TA, RA, 研究員等を含む）されたことがある場合は、漏らさず記載してください。

(2) 研究業績一覧（各研究業績に番号を付け、審査付論文の番号にはアンダーライン、主要研究業績5点には番号の冒頭に*印を付けること。）

(3) 主要な研究業績5点（別刷又はコピー、著書）

(4) 教育上の主要な業績（今までに担当した授業科目の内容を明記すること）

(5) 社会貢献に関わる主要な業績

(6) 大学等における管理運営に関わる主要な実績

(7) 最近5年間ににおける外部資金の獲得状況

(8) 着任後の研究・教育に対する抱負と計画（日本語 2,000-3,000 フランス語 700 words 程度）

8. 応募期限

平成29年9月29日（金）17:00（日本標準時）（必着）

9. 応募書類送付先

〒739-8522 広島県東広島市鏡山1-2-3

広島大学大学院文学研究科長 久保田 啓一

※封筒の表に「大学院文学研究科欧米文学語学・言語学講座（フランス文学語学）教員応募書類在中」と朱書き、書留郵便で送付してください。

10. 選考方法

(1) 書類審査

(2) 必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は、原則として、フランス語による模擬授業を行います。原則として、面接はスカイプ(Skype)を通じて行います。（スカイプは<https://www.skype.com> より無料でダウンロードできます。）なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、その形式について、別途連絡します。

11. 給与等

(1) 採用になった方には、月給制又は年俸制が適用されます。

（広島大学職員給与規則，広島大学年俸制職員給与規則適用）

(2) 採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせください。

【月給制適用の場合】

国、独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後、引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますのでご注意ください。

なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り通算されます。

12. 評価 本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。
13. その他 (1)応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。
- (2)広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。教員は配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、教養教育科目や他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
14. 問い合わせ先 広島大学大学院文学研究科 欧米文学語学・言語学講座 宮川 朗子
TEL:082-424-6692 FAX:082-424-3015
E-mail: akikomiv@hiroshima-u.ac.jp

Date: June 12th, 2017

Faculty Open Position

In accordance with the provisions of Article 8, "Special Provisions of Measures Pertaining to Women Workers" of the Equal Employment Opportunity Law for Men and Women, the recruitment will be limited to female researchers in order to actively increase the current low ratio of female faculty members.

1. Affiliation (Appointment): Academy of Hiroshima University (Department of British, American, and European Languages and Literatures, and Linguistics, Graduate School of Letters)

2. Position and the number of openings: Professor or Associate professor, one (1)

3. Commencing date of employment: April 1st, 2018

4. Field of specialization: French Language and Literature
(Including comparative literature and comparative studies of culture with a French/Francophone emphasis)

5. Teaching responsibilities

- Undergraduate level (general education courses): 'Intensive French', etc.
- Undergraduate level (discipline specific courses):
'Intermediate course in French language', 'Advance course in French language',
'Seminar in Contemporary French Literature' or "Seminar in Modern French Literature", or 'Seminar in Comparative Study of Japanese and French Cultures' etc.
- Graduate level (master's programs):
'Study on French Literature', 'Special Research Tutorial I' etc
- Graduate level (doctoral programs): 'Special Research Tutorial II', etc.

* In addition to the courses listed above, he or she may be asked to teach other general education courses and/or discipline specific courses in other department(s) and graduate school(s).

6. Qualifications

Applicants must satisfy all of the following requirements:

- (1) Hold a doctorate or an equivalent degree by the time the appointment begins and more than one book (monograph) published or more than published ten academic papers (including more than three refereed papers)

- (2) Have experience in teaching French language or French literature
- (3) Native speaker of French, or non-native speakers of French who have native-level proficiency in French

* Some proficiency in the Japanese language to perform duties is preferable.

7. Application materials required

- (1) Resume
Including degrees attained, employment history, details of affiliations with academic institutions/societies, address, email address, etc.
If you have a history of being employed by Hiroshima University (as a TA, RA, researcher, etc.) in the past five years, be sure to state all positions you have held.
- (2) List of publications and oral presentations (Number each publication/presentation, and underline the numbers of refereed articles. Affix an asterisk (*) to the numbers of your five major publications or presentations.)
- (3) Five major publications or presentations (Reprints, photocopies, or books)
- (4) Major educational activities and teaching experience (Please state clearly all classes you have taught)
- (5) Major social contributions
- (6) Major activities in university/institutional management and administration
- (7) List of acquired external funding over the last five years
- (8) Statement of intent (Please describe your interests in teaching and research in approximately 700 words in French, should you take this position.)

8. Application deadline: All application materials must reach us by 17:00 on 29th September, 2017 (Japan time).

9. Please send all application documents to the following address:

Prof. Keiichi KUBOTA

Dean, Hiroshima University Graduate School of Letters

1-2-3, Kagamiyama, Higashi-Hiroshima 739-8522, JAPAN

- * Print in red "Application documents for faculty open position in the Department of British, American, and European Languages and Literatures, and Linguistics, Graduate School of Letters (French Language and Literature)" on the envelope containing the application documents and send it by registered mail.

10. Selection procedure

- (1) Selection will be made based on all application documents submitted.
- (2) Interviews will be conducted as needed. We will conduct simulated lessons in

French on Skype (<https://www.skype.com>).

11. Salary, etc.

- (1) The monthly salary system or annual salary system will be applied to successful candidates.

(Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members will be applied. Regulations Concerning Salaries of Hiroshima University Faculty Members Employed under Annual Salary System will be applied.)

- (2) Successful candidates may be reimbursed for travel expenses incurred for the trip from their home or former place of work to the new place of work to assume their post in accordance with the relevant regulations of Hiroshima University. For more information, please contact us.

12. Evaluation

We conduct individual performance evaluations for all Hiroshima University faculty members after their employment, numerically rate their performance, and salary and benefits are commensurate with performance indicators.

13. Miscellaneous

- (1) Personal information obtained from application documents will not be used or provided to any third party for purposes other than the necessary procedures related to personnel affairs, salary, and welfare. Application documents of applicants whom we have decided not to employ will be returned to those applicants in an appropriate manner, after the completion of relevant selection processes.
- (2) All the faculty members of Hiroshima University belong to the "Academy", which is the single university-wide faculty organization, and each faculty as a member of the Academy of the University is appointed to educational and/or research organizations such as an individual undergraduate school, graduate school, research center or institute.

14. Contact

Prof. Akiko MIYAGAWA

Department of British, American, and European Languages and Literatures, and Linguistics, Hiroshima University Graduate School of Letters

Tel: 082-424-6692 Fax: 082-424-3015

E-mail: akikomiy@hiroshima-u.ac.jp